

## 住民説明会での主な質問・意見と回答

NO	質問	左記に対する町の回答
1	宇治田原町は森林が豊富で、間伐材があふれている山が多い。間伐材を利用した自家発電ボイラーを検討・調査したのか。庁舎棟だけでも検討したのか。	調査はしていませんが、今後検討していきます。間伐材の利用については重要な問題と思っており、保健センター・地域子育て支援センターの構造材等で使えないか検討していきます。
2	この説明会で、庁舎の敷地面積が増えた理由・説明が全くなかった。	増えた要因として①バスロータリーの設置・大型バスの進入路の面積の確保、②水防倉庫、受水槽等の設置面積の確保、③周辺道路の地盤高が決まり、法面や擁壁といった構造物を造る必要があり、その面積の確保、④ふれあい広場を庁舎面積に含めた、があります。
3	また、パブリックコメントでどのような意見がでたのかの説明がなかった。	時間の都合上で、パブリックコメントの具体的な内容について説明できませんでしたが、面積について、事業費について、木造を使うべき等がありました。
4	庁舎の場所についてもパブリックコメントの中で見直すべきとの意見がたくさんあったはずである。	場所の変更の意見もありましたが、シビック交流拠点を位置付け、その中で一定の面積を確保できる場所、そして利便性についても南北線を造ることで住民が行き来でき、立川地区の方も賛田立川線によってアクセスができ、宇治田原山手線が新名神の宇治田原インターからのアクセス道路となることから確保できると判断したことから、庁舎の場所を決定しています。
5	平成 38 年から 44 年で約 1 億 5 千万程度の財源不足が生じているが、子育て支援などの予算が組めるのですか。	財政シミュレーションを踏まえた上での庁舎計画であります。 平成 38 年度からの財源不足とのことでありますが、税収を伸ばす取り組みとあわせて支出削減を行うことにより、庁舎を建設しても健全な一定のレベルを推移できるものと想定しております。
6	BCP（業務継続計画）を作ると言っていたが、どこまで進んだのか。	現在、庁内で作成中であり、年度内をめどに完成を目指しています。
7	液状化が防げる根拠、液状化となった場合でも構造物が通常使用するのに問題ない根拠はどこにあるのか。	液状化をする条件の一つである、地下水位はありませんが、液状化する層の有無、そして液状化するか否かについては詳細調査ができていないので現在不明であります。仮に液状化することが判明した場合、大きな地震が来ても杭が損傷しない、上に支えている躯体についても損傷しないように設計していきます。 設計に際しては国の基準において耐震に関する重要度係数を設けており、今回の新庁舎に関しては地域の重要な施設との扱いであることから 1.5 倍の地震に対しての安全性を持って設計をします。
8	庁舎本体は大丈夫としても、水道・電気・ガスなどは破壊されるのではないか。	BCP の策定や地域防災計画中で対応していきます。水道に関しては他市町と災害時での協定を結んでいることから機能は維持できると考えています。
9	各地区の集落が関係しているところに防災施設を造るべきである。分断されたら、誰が新たな防災公園に行けるのか。庁舎が避難場所になるはずがない。	防災公園が孤立することはないと、また、道路が全滅的に寸断されることはないと考えています。
10	庁舎の隣に防災公園をつくるのなら、ふれあい広場を造る必要はあるのか。	子育て支援センターの隣に設置しており、どちらかという小さい子供をメインに考え、親子で遊ぶことを考えています。ふれあい広場は公園機能ではありますが、子育て支援センターとセットものとし、室内だけでなく外でも遊んでいただき、親子との触れ合いの場として位置づけています。

NO	意見	
1	財政収支や収支計画を町民の窓やホームページに示してほしい。	
2	土地の購入をしていないにもかかわらず、なぜ23億円の数字が出てくるのか。予算をしっかりと押さえているのか疑問である。	